

『技術者倫理』 進行予定 (大石玄担当分)

- 第1回 12月2日(月) 13:00～
『だから失敗は起こる』(1) 失敗学へようこそ
六本木ヒルズ回転ドア事件 [技術者倫理の世界 16頁～]
ハインリッヒの法則とは

- 第2回 1月20日(月) 13:00～
『だから失敗は起こる』(3) 予測できるはずの失敗
ベビーカー挟まれ事故 / 学校シャッター事故 / 上越新幹線脱線事故
公衆の安全・健康: JCO臨界事故 [技術者倫理の世界 25頁～]

- 第3回 1月27日(月) 13:00～
ハインリッヒの法則: 演習
『だから失敗は起こる』(4) 失敗は伝わらない
三陸津波災害 / 日比谷線脱線事故 / 雪印食中毒事件

- 第4回 1月30日(木;月曜授業) 13:00～
『だから失敗は起こる』(5) 組織が失敗を呼ぶ
JR福知山線脱線事故 + みずほ銀行システム障害事件

- 第5回 2月3日(月) 13:00～
『だから失敗は起こる』(8) 失敗を残せ
JAL御巣鷹山墜落事故 / 三菱重工業タービンローター事故
コンプライアンス: 三菱自動車リコール隠し [技術者倫理の世界 77頁～], パロマ湯沸器事故
内部告発: ミートホープ食肉偽装事件 [技術者倫理の世界 88頁～]

参考資料)

失敗知識データベース

<http://www.sozogaku.com/fkd/index.html>

建物事故予防ナレッジデータベース

<http://www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp/kjkb/index.php>

畑村洋太郎 『「失敗学」事件簿』 (小学館文庫, ISBN:9784094081800)

電気学会倫理委員会 『技術者倫理事例集』 (電気学会, ISBN:4886862780)

■ 演習

身近なところで「ハインリッヒの法則」に当てはまるようなリスク要因を釧路高専の敷地内（実験室等を含む）において探してみよう。自分自身で《ヒヤリ・ハット》を経験したことがあれば、その体験を報告してくれても良い。

GMT 2013-DEC-12 (Thu) 23:59 までに見つけた事例を e メールで報告のこと（可能であれば、現場の写真を撮って画像ファイルを送って欲しい）。

この演習については、隠れた危険の度合いに応じて評価を付与する [全体の 10 %]

■ 評価レポート [全体の 90 %]

- ① 題名は「失敗を活かすには——××事件に学ぶ」とすること
- ② レポートの中で、自分自身がこれまでに経験した失敗をエピソードとして紹介すること
- ③ 講義の中で紹介した事件を少なくとも 1 つは踏まえたものとする
（取り上げることにした事件を副題として ×× に書き入れる）こと。

レポートは GMT 2014-FEB-12 (Wed) 23:59 までに e メールにて提出すること。形式は Word ドキュメントもしくは PDF とする。分量は 2,000 文字を目安とする。評価基準は以下のとおり。

- a: 「講義の中で紹介した事件」が内容を踏まえて十分に紹介されているか？ [25 点]
- b: 「自分自身がこれまでに経験した失敗」が適切に組み込まれているか？ [25 点]
- c: 「公衆の安全」に対する技術者の役割が適切に表明されているか？ [20 点]
- d: 期日を守って提出され、十分な分量をもって記述がなされているか？ [20 点]

提出されたレポートのうち優秀なものは、ウェブで公開する。公開に際して本名を明かしたくない場合には、本名の後にカッコ書きでペンネームを記載すること。

作成にあたっては、不特定多数の人に読まれることを意識して書くこと（例えば、エピソードの中で登場させる人物のプライバシー情報をみだりに公表したり、自身の犯罪行為を暴露するような記述は好ましくない）。

《連絡先》

genoishi@kushiro-ct.ac.jp

※ 病欠の場合、講義開始の 30 分前までに連絡すること